

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年01月30日

計画の名称	群馬県における広域的な下水道整備（重点計画）														
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	前橋市,伊勢崎市,甘楽町,桐生市														
計画の目標	下水道関連施設の統合を実施し、効率的な水処理を行い、公共用水域への汚濁負荷量削減を図り河川等の水質改善に寄与する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,068	A	1,068	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7年度当初	R9年度末	R11年度末
1	広域化事業への着手率を9%（R7）から24%（R11）に向上させる。			
	広域化事業着手率	85%	88%	89%
	広域化着手事業数（件）／広域化予定事業数（件）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	前橋市	直接	前橋市	管渠（ 污水）	新設	第1-1処理分区（A201-1-1 ）	管渠整備（圧送管） L=1,262 m φ150、マンホールポンプ	前橋市	■	■	■			160		－
	A07-002	下水道	一般	前橋市	直接	前橋市	終末処 理場	改築	前橋市し尿処理施設統合 事業（A201-4-1）	計画策定・調査・設計 一式	前橋市	■	■	■	■	■	110		策定中
	A07-003	下水道	一般	伊勢崎市	直接	伊勢崎市	管渠（ 污水）	新設	農業集落排水事業区域（ 三郷地区）統合（A204-1- 1）	圧送管φ100 L=869.4m 開削 工法φ200 L=1932.7m	伊勢崎市	■	■	■	■	■	414		－
	A07-004	下水道	一般	甘楽町	直接	甘楽町	管渠（ 污水）	新設	農業集落排水事業区域（ 善慶寺・国峰地区）統合 （A384-1-1）	実施設計 一式	甘楽町	■					15		－
A07-005	下水道	一般	甘楽町	直接	甘楽町	管渠（ 污水）	新設	農業集落排水事業区域（ 善慶寺・国峰地区）統合 （A384-1-2）	管渠整備（圧送管）・舗装本 復旧 φ100 L=724m、マン ホールポンプ	甘楽町		■	■			115		－	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-006	下水道	一般	甘楽町	直接	甘楽町	管渠（ 污水）	新設	農業集落排水事業区域（ 善慶寺・国峰地区）統合 （A384-1-3）	処理場内機械設備撤去 一式	甘楽町			■			50		－	
	A07-007	下水道	一般	桐生市	直接	桐生市	終末処 理場	改築	桐生市し尿処理施設統合 事業（A203-4-1）	計画策定・調査・設計・施設 整備 一式	桐生市			■	■	■	■	84		策定中
	A07-008	下水道	一般	伊勢崎市	直接	伊勢崎市	終末処 理場	改築	伊勢崎市し尿処理施設統 合（A204- 4 -1）	検討・計画策定・調査・実施 設計 一式	伊勢崎市			■	■	■	■	120		－
												小計						1,068		
											合計						1,068			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	82				
計画別流用増△減額 (b)	△17				
交付額 (c=a+b)	65				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	38				
翌年度繰越額 (f)	27				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					